

令和 8 年度海賊版対策事業
「インターネット上の海賊版対策に関する
国際著作権セミナー実施事業」
成果報告書

令和 8 年 8 月

株式会社オーエムシー

【目 次】

1. 目的	2
2. 実施内容	2
(1) 著作権セミナー	2
(2) 日越著作権協議	7
3. 参考資料	8

1. 目的

オンラインで流通する日本コンテンツの海賊版被害額が全世界で急増していることが指摘されており、早急な対策が必要である。こうした侵害行為に適切に対処するためには、侵害発生国における政府当局、民間事業者や弁護士事務所等との国境を越えた官民連携が必要である。

特に、東南アジア諸国では我が国コンテンツが人気となる一方、著作権への理解が十分でないことも多い。また、東南アジア諸国においてもコンテンツ産業を今後の主要産業となり得ると考えている国もあるが、そのような国においては、海賊版被害の当事者となった場合の有効な対応策等についてセミナー等を開催することで、広く海賊版対策についての協力関係を構築することができると考えられる。

これらの日本コンテンツの海賊版侵害発生国への普及啓発や、海賊版対策における連携をとることにより、当地の著作権実務や著作権意識を向上し、もって日本コンテンツの海賊版対策に資することを目的とする。

2. 実施内容

(1) 著作権セミナー

日本のコンテンツのオンライン海賊版被害が特に深刻となっているベトナムにおいて、当該地域のマンガ、アニメ等のコンテンツ企業や政府関係機関職員等を対象として、日本における権利行使の取組等を紹介するセミナーを以下の通り、実施した。

①開催概要

- ・実施日時：令和8年7月30日（木）14：00～17：00
- ・実施場所：La Thanh Hotel（ベトナム・ハノイ）
- ・実施方法：対面（日越同時通訳）
- ・セミナーのプログラム：参考資料1を参照
- ・参加者：74名（日越の実務関係者やベトナム現地メディア、政府関係者等）



会場：La Thanh Hotel

②実施内容

■開会

セミナーの開会に当たり、ベトナム著作権局のホアン局長及び文化庁の川上審議官による開会挨拶が行われた。始めに、ベトナム著作権局のホアン局長から、デジタル環境の急速な発展に伴う著作権保護の重要性とともに、ベトナムにおける制度整備の状況が紹介された。また、日本との協力関係が着実に進展していることに触れ、本セミナーを通じて両国の知見や経験を共有し、今後の連携をさらに深めていくことへの期待が述べられた。続いて、文化庁の川上審議官より、インターネット産業が国境を越えて利用・享受される時代において、著作権問題への対応には国際的な連携が重要であるとして、本セミナーが日越両国の知見共有と相互理解を深め、協力関係の一層の発展につながることに期待が示されるとともに開催に尽力した関係者及び参加者に対する謝意が述べられた。

■講演

開会挨拶の後、6名の演者による講演が行われた。始めに、ベトナム著作権局のオアイン副局長が「デジタル環境における著作権執行に関する法的規制」と題し、ベトナムにおける海賊版対策の取組について講演し、デジタル環境下における著作権侵害の現状と課題を紹介するとともに、知的財産法及び関連法令の改正によるオンライン上の著作権侵害への対応強化や、ISP、関係行政機関及び警察等との連携による権利執行の取組について説明した。また、デジタル環境における著作権保護には権利者や関係機関等との連携が不可欠であるとして、日本側関係者との協力強化への期待が述べられた。

続いて、文化庁著作権課国際著作権室の小林室長が「日本における著作権侵害対策の取組」と題し日本における海賊版対策について講演し、文化庁をはじめとする関係省庁・機関が連携して海賊版対策を推進していることを説明するとともに、普及啓発、国際連携及び権利執行の強化を柱とした文化庁の取組を紹介した。その中では、AIを活用した海賊版サイトの自動検知に向けた検証の取組などを紹介するとともに、今後も国内外の関係機関及び権利者との連携を強化し、著作権侵害対策を推進していく方針が示された。

続いて、日本レコード協会（RIAJ）の岩下氏が、「RIAJにおけるコンテンツ保護について」と題して音楽分野における海賊版対策の取組について報告し、音楽市場の動向やデジタル化に伴う著作権侵害の課題が紹介されるとともに、RIAJ内の違法対策専門組織であるCPPC（Copyright Protection and Promotion Center）による音源の無断利用への削除要請やフィンガープリント技術を活用した違法コンテンツ検出等の取組を説明した。また、リーチサイト対策を含むオンライン上の著作権侵害への対応には政府機関や執行当局をはじめ、事案に応じた関係者との連携が重要であることが強調されました。

続いて、ABJの伊東氏が「世界中に広がるマンガ海賊版サイトの実態」と題し、漫画分野における海賊版対策の取組についてABJ及びJPMAGによる出版社等と連携した対策の概要を紹介するとともに、国内外で拡大する漫画海賊版サイトの実態や被害状況について説明した。また、過激な広告出稿の抑制、運営者への警告、検索結果の削除要請、ホスティング事業者への対応等、複数の手段を組み合わせた取組を紹介し、国境を越える海賊版対策には関

係機関及び海外機関との継続的な連携が不可欠であることが強調された。

続いて、Kim Dong 社のリエン氏が「偽造・海賊版書籍の防止と撲滅―著作者と若い読者の権利を守る」と題し、ベトナムの出版社から見た海賊版対策の取組について講演した。その中で、同社の出版活動や日本を含む海外作品の出版実績が紹介されるとともに、偽造書籍の流通や電子書籍の違法共有等、出版分野における著作権侵害の現状と課題、また正規流通の促進や市場監視、関係機関との連携等による著作権保護の取組等が紹介された。

最後に、CODA ベトナムセンター／キャストグローバルの工藤氏が「正規コンテンツ市場の発展に向けた海賊版対策と日越協力」と題し CODA ベトナムセンターの活動について講演した。その中で、漫画、アニメ、映画等の日本コンテンツの人気の高まる一方で海賊版による権利侵害が深刻な課題となっている現状について説明するとともに、CODA 及び CODA ベトナムセンターの取組として、日本の権利者とベトナム政府機関等との橋渡し役として情報収集や権利保護に関する調整、法執行に向けた協力が行われていることが紹介された。さらに海外向け及びベトナム国内向けのオンライン海賊版サイトへの対応としてサイト運営者の特定や証拠収集、関係機関との連携等の取組が紹介され、日越双方におけるコンテンツ産業の健全な発展に向けた協力の重要性が示された。

■質疑応答

質疑応答では、参加者より著作権侵害による被害額・損害額の算定方法について質問が寄せられ、これに対し、ABJ 伊東氏より、海賊版サイトへのアクセス状況やユーザーの滞在時間等のデータを基に 30 分間の閲覧を漫画単行本 1 冊分相当と換算し、閲覧された冊数に漫画単行本の単価を乗じることで被害額を算出していると回答された。

■閉会

セミナーの閉会にあたり、まず、ベトナム著作権局のオアイン副局長は、日越両国の法律、海賊版対策及び著作権保護に関する課題について議論が行われたことに触れ、今後も継続的なセミナーの開催や著作権保護に向けた具体的な取組を進めていくことへの期待を示すとともに本セミナーの開催に尽力した関係者及び参加者に対する謝意を表した。最後に、文化庁著作権課国際著作権室の小林室長より、本セミナーの開催に謝意を表するとともに、今後も両国関係機関が継続的に協力し、著作権分野における課題解決に取り組んでいくことへの期待が示されるとともに、AI をはじめとする新たな課題への挑戦も含め、引き続き日越両国が相互に協力して対応していく必要性を述べ、セミナーは盛況のうち終了した。

③記録写真



ベトナム著作権局 TRAN Hoang 局長



文化庁 川上 敏弘 審議官



ベトナム著作権局 PHAM Thi Kim Oanh 副局長



文化庁著作権課国際著作権室 小林 克嘉 室長



一般社団法人日本レコード協会 岩下 正範 氏



一般社団法人 ABJ 伊東 敦 氏



Kim Dong 社 Vu Thi Quynh Lien 氏



CastGlobal Law Vietnam 工藤 拓人 氏



Kim Dong 社 Vu Thi Quynh Lien 氏による質問



回答する一般社団法人 ABJ 伊東 敦 氏



ベトナム著作権局 PHAM Thi Kim Oanh 副局長



文化庁著作権課国際著作権室 小林 克嘉 室長

（２）日越著作権協議

①開催概要

- ・実施日時：令和８年７月２８日（水）１４：００～１７：００
- ・実施場所：Vietnam Copyright Protection Center Copyright Office of Vietnam
(Floor 3 - Tower B, Meeting room)
- ・実施方法：対面（日越同時通訳）
- ・出席者：
ベトナム文化スポーツ観光省著作権局より７名、著作権保護センター（VCPC）より２名参加
日本文化庁より５名参加

②実施内容

日越両国の著作権制度及び海賊版対策等について情報共有及び意見交換を行った。

以上

Copyright Seminar on Online Piracy in Viet Nam Programme

Thursday, 30th July 2026

Time schedule (ICT)	Agenda
14:00-14:05 (5 minutes)	Opening Remarks • Mr. Tran Hoang, Director General, Copyright Office of Viet Nam
14:05-14:10 (5 minutes)	Opening Remarks • Mr. Toshihiro Kawakami, Director-General, Cabinet Secretariat, Government of Japan
14:10-14:25 (15 minutes)	Session 1: Anti-Piracy Initiatives in Viet Nam • Ms. Pham Thi Kim Oanh, Deputy Director General, Copyright Office of Vietnam
14:25-14:40 (15 minutes)	Session 2: Anti-Piracy Initiatives by the Agency for Cultural Affairs, Japan • Mr. Katsuyoshi Kobayashi, Director, Office for International Copyrights, Copyright Division, Agency for Cultural Affairs, Japan
14:40-14:50 (10 minutes)	Q&A
14:50-15:05 (15 minutes)	Coffee Break
15:05-15:25 (20 minutes)	Session 3: Music Piracy • Mr. Masanori Iwashita, Assistant Manager, Recording Industry Association of Japan (RIAJ)
15:25-15:45 (20 minutes)	Session 4: Manga Piracy • Mr. Atsushi Ito, Director, General Incorporated Association ABJ
15:45-15:55 (10 minutes)	Q&A
15:55-16:10 (15 minutes)	Coffee Break
16:10-16:25 (15 minutes)	Session 5: Anti-Piracy Efforts from the Perspective of a Vietnamese Publisher • Ms. Vu Thi Quynh Lien, Vice Director • Editor-in-Chief, Kim Dong Publishing House
16:25-16:40 (15 minutes)	Session 6: Anti-Piracy Activities by the CODA Viet Nam Center • Mr. Takuto Kudo, Managing Partner, CastGlobal Law Vietnam Co., Ltd./CODA Vietnam center
16:40-16:50 (10 minutes)	Q&A
16:50-16:55 (5 minutes)	Closing Remarks • Copyright Office of Viet Nam
16:55-17:00 (5 minutes)	Closing Remarks • Mr. Katsuyoshi Kobayashi, Director, Office for International Copyrights, Copyright Division, Agency for Cultural Affairs, Japan